



今年もいよいよ残りわずかとなってまいりました。今月号も最新のトピックスをお届けします。

国内動向

① 2019年1月からの化審法制度の変更点に関する情報の公開(経済産業省)

経済産業省は10月29日、2019年1月1日から施行される少量新規・低生産量審査特例制度及び一般化学物質等製造数量等届出に関する情報を集約したウェブサイトを開示した。

少量新規・低生産量審査特例制度:

http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/todoke/new19info.html

一般化学物質等製造数量等届出:

http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/todoke/existing19info.html

② 平成31年度分少量新規化学物質の製造・輸入申出等に係る日程について(厚生労働省・経済産業省・環境省)

11月15日、平成31年度分少量新規化学物質の製造・輸入申出等に係る日程が公表された。平成31年度からはオンラインによる申出の機会が増え、光ディスクを用いた郵送による申出も新設される。

http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/files/information/shinki/syoryoshinkiniteiosirase.pdf

③ 化審法少量新規申出の申出システム(Ver.7.0)への移行作業方法を公開(経済産業省)

経済産業省は11月21日、12月に公開予定の化審法少量新規申出の申出システム(Ver.7.0)の更新にあたり、申出システムver.6.1で作成した申出書データを申出システムver.7.0で利用する場合のデータ移行ツールを開示した。

http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/todoke/offersystem_ver7-0.html

海外動向

① 乳幼児用おしゃぶりの安全基準を改訂(欧州標準化委員会)

欧州標準化委員会(CEN)は、乳幼児用おしゃぶりの安全基準の第2次改訂版を公表した。主な変更点は、ビスフェノールAの移行量制限値(migration limit)や試験要件等。新基準に適合しない規制は2019年3月から順次撤廃される。

https://standards.cen.eu/dyn/www/f?p=CENWEB:110:0:::FSP_ORG_ID,FSP_PROJECT:6233,66993&cs=11F972F57669F84033574493B24A3224B

② 国際がん研究機関が発がん性評価結果を更新(WHO・IARC)

WHOの専門機関である国際がん研究機関(IARC)は11月6日、発がん性評価結果を更新し、ニトロベンゼン類及びその他の工業化学物質(合計8物質)をグループ2B(ヒトに対して発がん性がある可能性がある)に分類した。

[https://www.thelancet.com/journals/lanonc/article/PIIS1470-2045\(18\)30823-4/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/lanonc/article/PIIS1470-2045(18)30823-4/fulltext)

③ 米国EPA 2種のPFAS(GenX及びPFBS)の毒性評価案を公開(US EPA)

EPAは、パーフルオロアルキル化合物(PFAS)であるGenXとPFBS(ペルフルオロブタンスルホン酸)の毒性評価案中で参照用量(RfD)案を公開した。提案されたRfD案からは、GenXとPFBSの毒性はPFOS及びPFOAに比べて低いことが示唆されている。

<https://www.epa.gov/pfas/genx-and-pfbs-draft-toxicity-assessments>

https://www.epa.gov/sites/production/files/2018-11/documents/factsheet_pfbs-genx-toxicity_values_11.14.2018.pdf

特集：製品中に含まれる化学物質のリスク評価②

今月は、製品中に含まれる化学物質のリスク評価やその関連情報について公開している、海外の評価機関について、具体的な名称と URL をご紹介します。

表 製品関連のリスク評価関連情報を公開している海外の評価機関と URL

国・地域	評価機関 (略称)	正式名称	URL (2018年11月現在)
デンマーク	Danish EPA	デンマーク環境保護庁	https://eng.mst.dk/chemicals/chemicals-in-products/consumers-consumer-products/danish-surveys-on-consumer-products/
スウェーデン	KEMI	スウェーデン化学品庁	https://www.kemi.se/en/consumers
欧州	JRC	欧州委員会共同研究センター	https://ec.europa.eu/jrc/en/publications-list?f%5B0%5D=im_field_research_areas%3A2210&f%5B1%5D=sm_field_research_topics_nodes%3Anode%3A113125
オランダ	RIVM	オランダ国立公衆衛生環境研究所	https://www.rivm.nl/en/publications?search=consumer+products&reference_type=All&bibcite_year=All
米国カリフォルニア州	DTSC	カリフォルニア州有害物質管理局	https://www.dtsc.ca.gov/SCP/

来月号では、これら海外の評価機関から公開されているリスク評価事例について、ご紹介します。

お知らせ

○専門誌総説掲載

月刊雑誌「紙パ技協誌(紙パルプ技術協会)」2018年11月号に、「衛生用品用パルプ中に残留する塩素化合物の形態別分析と安全性評価」が掲載されました。総説には、生理用品に使用されているパルプ中ダイオキシンを定量分析し、算出した1日ばく露量から健康リスクの懸念はないことを確認したこと等、CERI職員が共同研究として評価を実施してきた成果がまとめられています。ご関心のある方は是非ご一読いただけますと幸いです。

https://www.japantappi.org/gikyoushi_top.html

[ご質問等ございましたら、以下の連絡先にお気軽にお問い合わせください。](#)

CERI 一般財団法人 **化学物質評価研究機構**
Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-25 日教販ビル 7F
安全性評価技術研究所 研究第二部
Tel: 03-5804-6136 (担当者: 石井(聡)、菊野、林)
URL: <http://www.cerij.or.jp> E-mail: cac-reach@ceri.jp